

## 平成30年第7回恵那市教育委員会会議録

開催日時 平成30年6月27日(水) 午後1時30分～  
開催場所 恵那市役所 4A会議室  
出席委員 教 育 長 大 畑 雅 幸  
教育長職務代理者 西 尾 修 欣  
委 員 村 松 訓 子  
委 員 鎌 田 基 予 子  
委 員 樋 田 千 史

説明のため出席した教育委員会事務局職員等

副教育長	児 玉 光 弘
事務局長	加 藤 真 治
調整監兼生涯学習課長	伊 藤 英 晃
教育総務課長	西 尾 克 子
教育総務課総務係長	三 宅 英 機

### 議 題

- 報第 1号 教員による不適切な指導について
- 報第 2号 恵那市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について
- 報第 9号 公共施設のブロック塀点検結果について
- 報第 3号 平成30年度教育委員会重点目標の進捗状況について
- 報第 4号 恵那市の園小中学校のトピック(7月)について
- 報第 5号 恵那市中央図書館月別利用状況
- 報第 6号 中山道広重美術館月別観覧者数
- 報第 7号 岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数
- 報第 8号 その他

開 会 (午後1時30分)

#### 1 会議録の承認

平成30年第6回恵那市教育委員会定例会会議録を承認しました。

## 2 教育長の報告

教育長 6月議会の一般質問で、教育委員会関係は3名の議員からの質問がありました。さまざまな環境の精査、検証を「環境」というキーワードで括り、長島・二葉こども園の土壌汚染対策から、工事の進捗や待機児童は解消されるか等の質問、それから学童保育の状況や、小中学校の教員の数や年齢層の偏りがいないかなどの確認と、今、全国的に言われている教員の長時間労働の状況はという質問、また、給食費の質問では、払えない家庭もあるので援助をしてほしいという願いから現状などの質問、就学援助制度の質問がありました。

さらに、恵那市指定文化財の長屋門の保存について質問がありました。いずれも率直に回答しました。

次に、後ほど副教育長から詳しく説明しますが、教員の不適切な指導について、体罰の訴えがあったということで、新聞に掲載された件です。

三つ目に現在の市内教職員の年齢別構成や配置一覧について資料を配っていますが、教員不足で計画配置の教員に頼りながら、それでも不足しているので一年間の講師、あるいは非常勤講師をお願いしているという状況です。そういう中で、養護教員が減ってきています。

## 3 教育委員の報告

委員 以前教育訪問の時に、学校施設管理の担当者が、設備の点検と一緒に来ていました。これはいいことだという話をしました。

全国的に問題となった学校ブロック塀の件もありますが、ぜひ都合をつけて施設の点検のための訪問に行っていただけるといいと感じました。

教育総務課長 担当も訪問日程と都合がつかない時もあるので、訪問とは別の日程で確認に行っています。

委員 大阪北部地震のブロック塀の関係のことで、マスコミが随分取り上げていますので、機会があれば点検をお願いしたい。

委員 放課後子ども教室で、自分も役員として参加していますが、様々な活動をする際に学校側と場所の調整をしているがとても難しい。

教育長 他の自治体でいう放課後子ども教室は、学童の学校版です。退職の先生が放課後、予備教室などの1部屋で、その時間に子供たちと様々な活動を室内で行う。親が迎えに来るまでの間、宿題程度を見るというような感じで、夕方5時くらいまでで恵那市内の学童のように晩遅くまでは行わない。夕方5時までなどの間、わずかな謝礼で行うボランティアというか、教員OBの気持ちに頼って行っています。

子どもの居場所づくりというようなことを言われた時代に、恵那市でいうと子どもクラブで遊びを教えたり、みんなで楽しい催しを行うことを、恵那市では放課後子ども教室という理解しています。

委員 こうした活動を、生涯学習課としてこれからも力を入れていくのか聞いたときに、国からの補助金をいただいている以上、やらないといけないというよう返答があった。そういうものか。

調整監兼生涯学習課長 確かにコーディネーターや講師などは、国の補助金で人件費を賄っている現実があるので、そういう返答になったのかと思います。

放課後など子どもへの支援のあり方の中で、子育て支援と学童とどのようにかかわっていくか、今一体化という話も国からあり全体で見直しをしています。どのような形が一番望ましいのかというところで、子ども教室や乳幼児期の家庭教育学級含めて活動がかぶる状況です。子供が放課後に地域の人とかかわりながら体験学習をしながら経験をして学んでいく、そのような形を生涯学習で担っています。

当初から放課後子ども総合プランに基づいて行っていますが、そこも含めて少し見直しをかけているところです。生涯学習課だけでなく市全体の放課後の子どものあり方とか、切れ目のない支援という中で見直しをかけています。

子ども教室も校区ごとであり方が違っていますので、実際に入りながら模索し協議しているところですが、今後も継続していくべきものと思っています。

委員 今年の子ども教室は19人です。去年は40人。多いときで60人ぐらいいたときもあって大変でしたが、今はすごくやりやすい。長島は地域との関わりがすごく弱くて、子ども教室の活動にも地域のほうが活躍できる活動というのは、なかなかまだ盛り込めていないのが現状です。

委員 子ども教室、友達クラブ、子どもクラブ、学童という言葉がでていますが、関連性があるのか。

調整監兼生涯学習課長 子ども教室というのは放課後子ども教室とって、文科省の流れの中で生涯学習課が放課後に子どもたちが体験とか、地域の人とかかわりながら様々な体験、学習、教育的な側面での授業です。学童は子ども居場所づくりということで、働いているお母さんたちとか、鍵っ子の対策で、福祉的な意味があります。

委員 所管が違うということですね。

教育長 世間から見ると似たようなものに見えるのではないのかという気もします。

結局責任の所在はどうなっていくかという、子どもがいて、例えば運動場で怪我をしたときに、学童であれば指導員の責任のもとに手当をしていかなければいけない。親にも連絡とりますが、これが曖昧だと子どもは当然職員室へ飛び込みます。学校が対応するという事になって、今でも最終下校時刻というのが決められていますが、最終下校時刻までは校長の責任のもとに、子どもたちは自由だけど運動場で遊んでいる。学童に行ったら学童の部屋に入った時点で保護者の責任になっていくので、別に縦割りというわけじゃない。責任の所在を明らかにしておくということだと思います。

委員 ブロック塀のことがやはり気になって、恵那市内では2校危ない箇所があるとのこと。事故が起きて方から大問題にならないように前もって指導をすることが必要とか思います。そういうことをしていても事故が起きるもので、気をつけてほしいと思います。

少年の主張大会に参加しました。10人の生徒の話を聞きましたが、男の子が少ない。また、表現力が全体的に弱いと感じました。もう少し手振りや声の大きさとかを意識し、原稿を読んでいるような声は主張にはなりにくいと思う。声を聴いている人に飛ばしていくようなパワーがほしいと思いました。

また、学校訪問をした際、掲示物でも現在のものが張ってあるところもあれば、過去のものが掲示されているところもある。そういうところは、子どもたちは過去を追うようになる。前向きに進もうとする、そういう力というものは掲示で育つかどうかということを、考えていかなければいけない。確かに過去に立ちどまって見据える力も大事だが、動きがある掲示をすることによってその先を見ていく力をやっぱり育てていくことが、大事ではないかと思いました。学校側にも見るところは見て、しっかり指導していきたいと思いました。

委員 上矢作小学校と串原小学校の訪問で、児童の反応とか聞く姿勢とか、発言の声の大きさなどに着目して見ていましたが、昨年と思うと、発表の声が大きくなっていったと思いました。小さな学校でしたが先生によって指導のカラーが出ていた。少ない人数ながらも机を近づけて、より交流ができるようにしていたりとか、支援の必要な児童にすぐ対応できるような机の配置にしていたり、工夫がされているのはよかったと感じました。

長島小学校では、児童の発表や発言の声が小さいと感じました。大人数ですし、こだわってみえる先生は、何回も本人がしっかり返事するまで名前を繰り返して、発言の声が小さいと前に連れてきて皆の方を向かせて発言させる先生もみえたので、こだわることというのは大事だと思いました。挨拶にしても姿勢にしても、何回もやり直しをさせて、どこかその先生がこだわりを持って指導すれば、いつか達成できたときや、持続できたときに児童も先生も、一つ一つクリアしていく喜びの積み重ねになると思います。少しのことでも何度も呼びかけて、こだわって指導していくことが大事だと感じました。

教育長 そのほかはありませんか。

委員 恵那市では少年の主張大会というタイトル、ネーミングを変えるような予定はないですか。

調整監兼生涯学習課長 今すぐにはないですが、少年の主張といいながら女子ばかりという現実がありますし、ネーミングとは別にほかの管内を見ても、新聞に載っていたものでは、例えば高校生まで入っているところもあれば、一般の部の主張も含めて大会やっているところもあります。そのあたりを勉強して、恵那の少年の主張を見直す必要があると思います。

委員 確かにマンネリということもよくないでしょうし、発表の場は大切で、継続していくべきだと思います。よりよい形になるように考えてください。

#### 4 報告事項

教育長 報告事項第1号教員による不適切な指導について、副教育長説明をお願いします。

教育長 報告事項第1号教員による不適切な指導について、資料に基づき説明。

委員 学校側が該当児童の家へ謝罪に行ったのは昼間、夕方ぐらいですか。

副教育長 午前中です。

委員 何とか、保護者と担任が仲良くなってもらえればいいけれども、拗れないようにしてもらいたい。本人や担任も辛いし、学校も辛い。新聞報道で教育委員会としても心配なところもある。

教育長 学校側が保護者にアクションをかけていくと良い。

委員 とにかく関わっていく。突っぱねてもだめです。

副教育長 学校もPTAもこれを機に、組織の中に相談窓口をつくりました。今後そういう訴えがあるときに、PTAの保護者会として相談に乗る窓口です。

委員長 では、報告事項第2号の恵那市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について説明をお願いします。

副教育長 報告事項第2号の恵那市幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する要綱について、資料に基づき説明。

教育長 質問があればお願いします。

委員 なし。

教育長 報告事項9号の公共施設のブロック塀点検結果について説明をお願いします。

事務局長 報告事項9号の公共施設のブロック塀点検結果について、資料に基づき説明。

教育長 質問はありませんか。

委員 通学路に関して、道路に面した民家のブロック、特にブロック塀で学校のPTAなどから子どもが通るので確認してください、気をつけてくださいというような、お願いの文書を出せるのではないかと。市教委が出すというわけにはいかないので、学校のPTAや学校長の名前とかでそれぞれの地区に出すということを提案すればできそうな気がします。

副教育長 都市住宅課を通じて県の東濃建築事務所のほうから各家庭に「お宅のブロック塀は大丈夫ですか」の回覧物が回っています。通学路の確認は範囲が広いのと、教職員の数も少ないので、早急の対応は難しいため、これからも定期的に通学路を調べていくということです。

私有地の場合もあるので、危ない箇所対策までできない。今回は危険箇所の把握をするということになります。

委員 私有地のブロック塀対策は、お互いに理解をしなければいけないことで、例

えばPTAなどから働きかけて、この塀に面して通学路ですから、ぜひ改善してもらおうようにといっても、通学路を変更すればよいと言われればそれだけのことになってしまう。

教育長 まずは第一段階で危ないところをチェックして、子どもたちや保護者に注意を促していきながら、徐々に直していただけるなり、補強していただけるところの理解者を増やしていくということだと思います。

最終的にもし倒れて事故になった時に、そのお宅の責任になる。恵那市の場合は塀に限らず空き家の屋根の軒、瓦が落ちてきそうな所もあるのではという状況です。その他はございませんか。

委員 なし。

教育長 では、報告事項の第3号平成30年度の教育委員会重点目標の進捗状況の説明をお願いします。

事務局長 副教育長、調整監兼生涯学習課長 報告事項の第3号平成30年度の教育委員会重点目標の進捗状況について資料に基づき説明。

教育長 ご質問、ご意見はございませんか。

委員 なし。

教育長 報告事項第4号の告事項第4号の恵那市の園小中学校のトピックについて、報告事項第5号恵那市中央図書館月別利用状況、報告事項第6号中山道広重美術館月別観覧車数、報告事項第7号岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数、報告事項第8号その他の説明をお願いします。

事務局長 報告事項第4号の恵那市の園小中学校のトピックについて、報告事項第5号恵那市中央図書館月別利用状況、報告事項第6号中山道広重美術館月別観覧車数、報告事項第7号岐阜県クリスタルパーク恵那スケート場入場者数、報告事項第8号その他を資料に基づき説明。

教育長 それでは、第7回教育委員会定例会を閉会いたします。

午後3時7分閉会を宣言します。

平成30年6月27日

教育委員 村松 訓子

教育委員 鎌田 基予子